

2024 年度（令和 6 年度）

学校法人国際共立学園 事業報告書

I. 法人の概要

1. 沿革

学校法人国際共立学園は、社団法人国際理容協会が「業界人(理容師)が業界人(理容師)を育成する学校」を目指し、1955 年(昭和 30 年)に東京都文京区の地に「国際高等理容学校」を開校したことに始まる。

厚生省(当時)より理容師養成施設の指定を受け、昼間課程定員(50 名)、夜間課程定員(50 名)、通信課程定員(50 名)の 3 つの課程が設置された。以下、主な出来事を年表形式で記載する

1958(昭和 33)年度	応募者の増加に対応すべく、現在の東京都荒川区東日暮里の地に校舎を移転。定員を昼間課程 100 名、通信課程 200 名に増員。
1966 (昭和 41) 年度	東京都より設置認可を得て、学校設置者を「社団法人国際理容協会」から「学校法人国際共立学園」に変更。 また、理容学校卒業生対象の高等部（後の師範科）を設置するとともに、新たに厚生省(当時)より美容師養成施設の指定を受けて美容科を新設。校名を「国際高等理容美容学校」へと改称。
1976 (昭和 51) 年度	学校教育法の一部改正による専修学校制度の成立に伴い、東京都の第 1 回専門学校認可を得て、「国際理容美容専門学校」と改称。
1983 (昭和 57) 年度	東京都荒川区西日暮里に第 2 校舎を設置。 また、第 1 回専修学校国費留学生受け入れ指定校となり、台湾からの留学生 13 名を受け入れた。
1987 (昭和 62) 年度	エステティックの技術と知識を修得する専門学科として、国内で初めて文部省(当時)の認可を受け、ビジネス美容科を新設。
1994(平成 6) 年度	全国の理美容学校に先駆け、理美容業界の発展と職業教育の充実を図るため、二年制専門課程の理容科と美容科並びに三年制高等課程の理容美容高等科を新設。
1997(平成 9) 年度	産能短期大学との併修コースをビジネス美容科が開始。
1998(平成 10)年度	理容科・美容科が産能短期大学併修コースを開始。 前年に成立した改正理容師法・美容師法がこの年に施行され、全国の理容美容専門学校が二年制へ移行。
1999 (平成 11) 年度	東京都荒川区東日暮里に第 3 校舎が完成。
2001(平成 13)年度	国際的エステティック教育機関 CIDESCO 本部より認定を受け、国内初の CIDESCO インターナショナルスクール認定校となる。
2006(平成 18)年度	東京都台東区根岸に第 4 校舎が完成。

2012(平成 24)年度	東京都荒川区東日暮里に第 5 校舎が完成。
2014(平成 26) 年度	理容科・美容科・ビジネス美容科の 3 学科が職業実践専門課程の認定を受ける。
2015(平成 27) 年度	ビューティアーティスト科を新設。
2016(平成 28) 年度	特定非営利活動法人専門学校等評価機構による第三者評価(第 1 回)を修了。
2018(平成 30) 年度	美容科内に産学連携実践型プログラムを設置。業界と協力しつつ、学生が奨学金を借りずにすむ、働きながら学べる環境を創出。
2019(平成 31/令和元)年度	ビューティアーティスト科を二年制へ改組。ブライダルやメイクを中心に学ぶ学科へとカリキュラムを一新。
2020(令和 2) 年度	高等専修学校「国際共立学園高等専修学校」を新たに開校。 美容師科と製菓衛生師調理師科を新設。特に製菓衛生師調理師科は在学中に製菓衛生師と調理師の資格が取得できる、国内初の学科として厚生労働省の指定を受けた。 特定非営利活動法人専門学校等評価機構による第三者評価(第 2 回)を修了。
2021(令和 3) 年度	ビューティアーティスト科が職業実践専門課程として文部科学省より認定を受ける。本校全学科が同課程の認定校となった。
2022(令和 4) 年度	国際共立学園高等専修学校第 1 期卒業生を送り出す
2023(令和 5) 年度	理容科内に産学連携実践型プログラムを設置。1 期生を受け入れ。

2. 所在地

本 館	116-0014	東京都荒川区東日暮里 5-17-12
3 号 館	116-0014	東京都荒川区東日暮里 2-10-7
4 号 館	110-0003	東京都台東区根岸 2-21-18
新 館	116-0014	東京都荒川区東日暮里 5-17-8
高等専修学校	116-0013	東京都荒川区西日暮里 2-33-23

3. 設置する学校・学科等

(1) 国際理容美容専門学校

学科名	修業年数	入学定員	総定員
職業実践専門課程理容科	2 年	60 名	120 名
職業実践専門課程美容科	2 年	120 名	240 名
職業実践専門課程ビジネス美容科	2 年	40 名	80 名
職業実践専門課程ビューティアーティスト科	2 年	60 名	120 名

通信課程理容科	3 年	30 名	90 名
通信課程理容科美容修得者コース【※2】	1.5 年	20 名	30 名
通信課程美容科	3 年	100 名	300 名
通信課程美容科理容修得者コース	1.5 年	20 名	40 名

(2) 国際共立学園高等専修学校

学科名	修業年数	入学定員	総定員
衛生高等課程美容師科	3 年	40 名	120 名
衛生高等課程製菓衛生師・調理師科	3 年	32 名	96 名

4. 役員及び教職員数（2024 年 4 月 1 日現在）

役員及び教職員数（2024 年 6 月 1 日現在）

(1) 理事・監事

定員・人数	区分	職名	常勤・非常勤	氏名
理事 定員 7 人 (実員 7 人)	第 1 号	理事	常勤	工 藤 佑 輝
	第 2 号	理事長	常勤	和 田 美 義
		理事	常勤	若 松 真 由 美
		理事	常勤	五 十 嵐 久 乃
	第 3 号	理事	非常勤	廣 田 利 照
		理事	非常勤	関 本 恵 一
		理事	非常勤	白 石 俊 廣
監事 定員 2 人 (実員 2 人)		監事	非常勤	羽 鳥 和 彦
		監事	非常勤	仲 矢 仁

(2) 評議員

定員・人数	区分	氏名
評議員 定員 15 人 (実員 14 人)	第 1 号	古 莊 浩 司
		若 松 真由美
		五十嵐 久 乃
		今 野 浩 志
		嶺 雄 太
	第 2 号	工 藤 佑 輝
		問 仁 田 厚

	第 3 号	張 素 娥
		和 田 美 義
		河 西 修
	第 4 号	田 中 秀 一
		白 坂 春 光
		坂 井 澄
		佐 山 茂 吉

(3) 教職員

学校名	教員			職員
	専任	非常勤	助手	
国際理容美容専門学校	2 2	3 0	—	1 3
国際共立学園高等専修学校	1 0	3 6	—	1

4. 理事会・評議員会の開催状況

(1) 2024 年度の理事会開催状況は以下の通りである。

- ・ 2 0 2 4 年 5 月 2 7 日(月)
- ・ 2 0 2 4 年 1 0 月 2 8 日(月)
- ・ 2 0 2 5 年 3 月 2 4 日(月)

(2) 2024 年度の評議員会開催状況は以下の通りである。

- ・ 2 0 2 4 年 5 月 2 7 日(月)
- ・ 2 0 2 4 年 1 0 月 2 8 日(月)
- ・ 2 0 2 5 年 3 月 2 4 日(月)

II. 事業の概要

2024 年度、学校法人国際共立学園が行った取組等は次のとおり。

1. 国際理容美容専門学校

(1) 教育目標

美・実学・創造を柱とする美教育を実践し、周囲に気配りができる資質の高い職業人を育成することを目指し教育活動を行っている。また、学生の夢が実現できるよう、クラス担任制によるきめ細かな指導を実践し、就職まで責任をもってサポートしている。

(2) 学生募集

69 年の歴史と各学科の専門性を活かし、学生一人ひとりの未来を真摯に見据えた広報活動を展開している。

総合型選抜（旧 AO 方式）では、入学前から業界への理解を深める独自の取り組みとして、昨年度に引き続き「プレアカデミー参加レポート」を課した。これは、学生が興味のある業種のサロンを訪問し、実務体験を通して得た学びをまとめ、単なる情報収集に留まらず、学生自身の業界理解を深める貴重な機会を提供している。

WEB エントリー・WEB 出願環境を整備し、全ての入試方式でオンラインでの手続きが可能となった。これにより、受験生の利便性を向上させている。

体験入学では、広報スタッフが中心となり、綿密な研修を重ねて運営している。研修を通じて、コミュニケーション能力や接客スキル、相手への細やかな配慮といった、将来社会で役立つ力を磨き、高校生の視点に寄り添った親身なコミュニケーションを実践することができている。

(3) 国家試験等の結果（2025 年 3 月 31 日現在）

試験名	学科名	受験者数	合格者数	合格率	全国平均
理容師国家試験	職業実践専門課程理容科	35 名	31 名	88.6%	70.8%
	通信課程理容科	18 名	13 名	72.2%	
	通信課程理容科美容修得者コース	19 名	19 名	100%	
美容師国家試験	職業実践専門課程美容科	90 名	80 名	88.9%	55.0%
	通信課程美容科（春入学）	29 名	25 名	86.2%	
	通信課程美容科（秋入学）	38 名	29 名	76.3%	
	通信課程美容科理容修得者コース	13 名	13 名	100%	
CIDESCO 国際ライセンス	職業実践専門課程ビジネス美容科	14 名	12 名	85.7%	—

(4) 就職率（2025 年 4 月 1 日現在）

学科名	就職希望者数	就職者数	就職率
職業実践専門課程理容科	35 名	35 名	100%
職業実践専門課程美容科	90 名	90 名	100%
職業実践専門課程ビジネス美容科	14 名	14 名	100%
職業実践専門課程ビューティアーティスト科	48 名	48 名	100%

(5) 中途退学者削減に向けた取り組み

中途退学者抑止に向けた組織的な取り組みとして、以下の活動を継続して行っている。

- ① 退学の要因、傾向を指導経過記録から分析し、学科において情報共有を行い、学生指導や保護者を含めた三者面談を密に行った。
- ② 悩みを持つ学生へのサービス向上のため、スクールカウンセラーの契約を継続し、毎週 1 回の相談体制を整えている。相談時のプライバシー保護を徹底するため、相談申し込み方法を従来の QR コード方式から、より匿名性の高い学校アプリ経由に変更した。
- ③ 全教職員を対象に、クラスマネジメント強化を目的としたカウンセリング研修を実施した。研修では、ロールプレイングを通して、具体的な場面を想定したスキル修得に取り組んだ。

2. 国際共立学園高等専修学校

(1) 教育目標

学校教育法に基づき、基礎となる専門技術・知識（実学）、自らを律し相手を思いやる社会人としての素養（躰）、そして自分らしさを具体的に表現できる技術と知識（創造）という三つの要素を教育実践の基礎とし、美容と製菓・調理の各分野で活躍する近代的職業人の養成を教育目標としている。また、生徒の夢を実現できるよう、クラス担任制によるきめ細かな指導を実践し、生徒一人一人のサポートを行っている。

(2) 生徒募集

昨 2023 年度の本校入学者へのアンケート結果から、伝統的に存在した経済的理由による入学や 18 歳での早期就職に優先順位を置く層から、自己実現のために専門的職業教育を志望する層が増えつつあるという仮説に基づく広報活動を行った。

結果として、両学科とも入学者の属性（ほぼ全員が複数回の体験入学参加、夏休み前に本校への出願を決意）を見る限り、この仮説が有効であったことを示している。

こうした層とは別に、夏休み以降に進路研究を開始し、短期間での進路決定を望む層に対し、どのように適切な進路情報を提供するかという点が今年度の課題として残った。

(3) 国家試験等の結果（2025 年 3 月 31 日現在）

学科名	試験名	受験者数	合格者数	合格率	全国/都平均
美容師科	美容師国家試験	36 名	31 名	86.1%	88.1%
製菓衛生師・調理師科	製菓衛生師試験	22 名	22 名	100%	59.3%

※ 調理師資格は学内審査により卒業と同時に全員取得

(4) 就職・進学率（2025 年 4 月 1 日現在）

学科名	就職・進学希望者数	就職・進学者数	就職・進学率
美容師科	36 名	36 名	100%
製菓衛生師・調理師科	22 名	22 名	100%

(5) 中途退学者削減に向けた取り組み

中途退学者抑止に向けた組織的な取り組みとして、以下の活動を行った。

- ① 日頃から定期的に生徒と担任の二者面談を実施し、生徒理解に努めた。
- ② 週 1 回の職員会議を実施し、職員全体で生徒の情報共有を行った。
- ③ 退学の要因、傾向を指導経過記録から分析し、学内で情報共有し、研修を行なった。
- ④ スクールカウンセラーの定期的滞在(週 1 日)にとどまらず、学内巡回などを通して生徒とのコミュニケーションの活発化を図るなど、カウンセラーに対する生徒の認知度・親近感を増加する取り組みを実施。
- ⑤ 昨年度から「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」に基づき、入学生、学校資料請求者に対して本校の共生社会の実現に向けた取組内容を具体化し、ホームページにおける告知活動を行っている。

こうした取り組みの結果、起立障害の生徒の学習支援を学科全体で取り組み、その支援を得た生徒本人も自信をもって学校生活を送り、卒業・就職できたという実績を残すことができた。